



校長室だより



あいさつを大切に

さわやかな風が心地よく感じられることとなりました。新学期が始まり、1ヶ月がたちました。子どもたちは、新しい環境にも慣れてきたことでしょう。1年生も学校生活に慣れてきて、いろいろな勉強をしたり、自分たちで給食の準備ができるようになっていたりしています。子どもたちの様子を見ていると、新たな気持ちで頑張ろうとしている気持ちを感じられます。その気持ちを大切にしていってほしいと思います。

さて、毎朝、校門で子どもたちを迎えているのですが、長野小学校には、元気にあいさつをする子どもが多く、とてもうれしく思っています。あいさつは、人とのコミュニケーションの基本です。朝から、「おはようございます!」という元気な声を聞くと、とても気持ちがよくなります。あいさつの力はすごいなあと感じさせられます。

あいさつ上手になるためのポイントとして、次のようなことを子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

あ 「明るく」です。あいさつは気持ちを表すものです。明るくあいさつをした方が、相手も元気になるます。そして、あいさつをした自分も明るい気持ちになれます。明るくあいさつができるといいですね。

い 「いつも」です。朝起きてから、夜寝るまで、いろいろな場面であいさつがあります。「行ってきます」「こんにちは」「ありがとう」「おやすみなさい」など、たくさんあります。悪いなあと感じた時には、「ごめんなさい」も大切です。いつも、その場に応じたあいさつができると楽しく過ごすことにもつながります。

さ 「先に」です。あいさつを言われてから返すのではなく、自分から進んですると、さらに自分の気持ちが伝わりやすくなります。

つ 「続ける」です。いいことは続けることが大切です。続けることで、良い習慣が身につく、気持ちよく生活ができるようになるものです。

子どもたちがあいさつの大切さを感じ、友だちや先生、おうちの方や地域の方にも心を込めてあいさつができるようになってほしいと願っています。

今週から来週にかけ、ゴールデンウィーク期間であり、ゆっくり過ごせることと思いますが、暑くなる日も多くなりそうです。健康管理にも配慮していただき、5月も子どもたちが元気に過ごしてほしいと思います。

